



## 平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 京進

コード番号 4735 URL <http://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川寛治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 高橋良和

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	5,038	—	284	—	264	—	125	—
24年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 25年5月期第2四半期 115百万円 (—%) 24年5月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	14.96	—
24年5月期第2四半期	—	—

(注)24年5月期は決算期の変更により、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月となっております。このため、前年同四半期の連結経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	7,529	2,317	30.8	276.27
24年5月期	7,738	2,202	28.5	262.51

(参考)自己資本 25年5月期第2四半期 2,317百万円 24年5月期 2,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	—	—	0.00	0.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,002	—	182	—	147	—	59	—	7.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)24年5月期は決算期の変更により、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月となっております。このため、平成25年5月期の連結業績予想における対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	8,396,000 株	24年5月期	8,396,000 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	6,685 株	24年5月期	6,685 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	8,389,315 株	24年5月期2Q	— 株

(注)24年5月期は決算期の変更により、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月となっております。このため、24年5月期第2Qの期中平均株式数については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

前連結会計年度は、決算期変更の経過期間であり、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月間となっております。よって、前期比は記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、復興需要や企業の業績回復など、緩やかな景気回復傾向が見られるものの、長期化する円高や原油価格の高騰などにより、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましては、こうした経済情勢に加え、少子化による学齢人口の減少が続く中、新たな事業領域への参入やITを活用した新たな学習サービス・教材の開発等、様々な取り組みが展開されております。また、業界再編の動きも更に進行すると考えられます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、前期より引き続き人材育成と能力開発、収益改善を最重要課題に据え、研修・教育の強化による社員の質の向上、商品・サービスの品質改善に取り組んでおります。これにより、顧客満足を顧客感動へと高めて、基幹事業である学習塾事業における収益の向上を図っております。

英会話事業では積極的な教室展開を開始、FC事業においては新規加盟教室の増加と既存加盟教室の早期収益化を進め、利益貢献部門への転換を目指しております。保育事業においては、平成23年11月に開園した第1号保育園が順調に集客を進めております。幼児教育事業においては、関西圏にて開校を控える私立小学校の受験対策市場への対応を進めております。

また、長期的な視点から、国内学習塾市場だけに依存することなく、今後の成長を見据え、新たな収益の柱作りとして、海外展開及び新規事業への投資を積極的に進めております。特に日本語教育事業においては、中国や東南アジア各国における大学との関係を深め、留学生の受入れ支援、国内子会社で運営する日本語学校との連携の強化を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、期中平均生徒数が22,076人となり、売上高が5,038百万円となりました。利益においては、販管費の抑制が奏功し、営業利益284百万円、経常利益264百万円となりました。減損損失等の計上の結果、四半期純利益は125百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の内部振替前の数値によります。

#### <学習塾事業>

個別指導部において、1校の開校（子会社Kyoshin USA, Inc.による京進スクール・ワンNYハリソン教室）、1校の統廃合を行いました。

当第2四半期連結累計期間におきまして、学習塾事業の期中平均生徒数は、ほぼ計画通り推移し20,460人となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高4,732百万円、セグメント利益746百万円となりました。

#### <その他の教育関連事業>

英会話事業部において、1校の開校を行いました。FC事業部における個別指導教室京進スクール・ワンのフランチャイズ教室展開については、3校を開校、1校を直営化した結果、当第2四半期連結会計期間末で91校となっております。日本語教育事業部において、子会社京進ランゲージアカデミーを設立し、日本語学校（東京都新宿区）の運営を開始しております。

当第2四半期連結累計期間のその他の教育関連事業については、いずれの事業においても生徒数が堅調に推移し、期中平均生徒数が1,616人となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高308百万円、セグメント損失60百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、7,529百万円となり、前連結会計年度末に比べ、209百万円減少しました。流動資産は、1,628百万円となり221百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少192百万円、売掛金の増加52百万円、繰延税金資産の減少61百万円等です。固定資産は5,900百万円となり、12百万円増加しました。有形固定資産は、3,704百万円（68百万円減少）となりました。主な要因は、建物及び構築物の減少53百万円等です。無形固定資産は、208百万円（62百万円増加）となりました。主な要因は、のれんの増加69百万円等です。投資その他の資産は、1,987百万円（18百万円増加）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、5,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ、324百万円減少しました。流動負債は、2,132百万円となり73百万円増加しました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少

61百万円、未払金の減少69百万円、未払法人税等の増加43百万円、その他の増加158百万円等です。固定負債は3,079百万円となり、398百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少414百万円、退職給付引当金の増加55百万円、社債の減少36百万円等です。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、2,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ、115百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益125百万円の計上による利益剰余金の増加等です。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.5%から30.8%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより725百万円となり、前連結会計年度末に比べ、188百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益242百万円、減価償却費115百万円、退職給付引当金の増加55百万円、売上債権の増加52百万円、前受金の増加103百万円、未払消費税等の増加62百万円等が発生しました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、545百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出102百万円、敷金及び保証金の回収による収入45百万円、事業譲受による支出120百万円等が発生しました。この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、211百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出475百万円、社債の償還による支出36百万円等が発生しました。この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、513百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年7月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項ありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,179,084	986,737
売掛金	123,724	176,616
商品	59,576	55,529
貯蔵品	12,833	14,672
繰延税金資産	260,989	199,169
その他	247,738	230,878
貸倒引当金	△33,464	△34,818
流動資産合計	1,850,482	1,628,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,018,008	1,964,853
土地	1,671,759	1,670,634
建設仮勘定	5,037	—
その他	78,018	68,782
有形固定資産合計	3,772,825	3,704,270
無形固定資産		
のれん	24,779	94,397
その他	121,422	114,481
無形固定資産合計	146,201	208,878
投資その他の資産		
投資有価証券	76,881	90,502
繰延税金資産	848,722	871,261
敷金及び保証金	958,579	942,383
その他	88,297	86,187
貸倒引当金	△3,094	△2,539
投資その他の資産合計	1,969,387	1,987,794
固定資産合計	5,888,414	5,900,943
資産合計	7,738,897	7,529,728

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,829	15,312
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	932,702	870,938
未払金	353,462	284,326
未払法人税等	10,759	54,268
賞与引当金	25,751	16,353
資産除去債務	17,070	31,763
その他	429,457	587,883
流動負債合計	2,059,032	2,132,846
固定負債		
社債	82,400	46,400
長期借入金	1,653,292	1,239,176
退職給付引当金	1,396,289	1,451,536
役員退職慰労引当金	245,039	252,766
資産除去債務	96,391	86,215
その他	4,210	3,056
固定負債合計	3,477,623	3,079,151
負債合計	5,536,656	5,211,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	1,633,287	1,758,814
自己株式	△1,432	△1,432
株主資本合計	2,223,701	2,349,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,678	12,540
為替換算調整勘定	△25,139	△44,038
その他の包括利益累計額合計	△21,461	△31,497
純資産合計	2,202,240	2,317,731
負債純資産合計	7,738,897	7,529,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	5,038,408
売上原価	3,617,097
売上総利益	1,421,310
販売費及び一般管理費	1,136,706
営業利益	284,603
営業外収益	
受取利息	862
受取配当金	1,363
貸倒引当金戻入額	486
雑収入	5,309
営業外収益合計	8,022
営業外費用	
支払利息	23,816
為替差損	63
雑損失	4,010
営業外費用合計	27,890
経常利益	264,735
特別損失	
減損損失	22,676
固定資産除却損	42
特別損失合計	22,719
税金等調整前四半期純利益	242,016
法人税、住民税及び事業税	37,012
法人税等調整額	79,476
法人税等合計	116,489
少数株主損益調整前四半期純利益	125,526
四半期純利益	125,526



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	125,526
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8,862
為替換算調整勘定	△18,898
その他の包括利益合計	△10,036
四半期包括利益	115,490
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	115,490

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	242,016
減価償却費	115,703
減損損失	22,676
のれん償却額	6,245
長期前払費用償却額	4,875
退職給付引当金の増減額(△は減少)	55,246
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,727
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,398
貸倒引当金の増減額(△は減少)	799
受取利息及び受取配当金	△2,225
支払利息	23,816
固定資産除却損	42
売上債権の増減額(△は増加)	△52,969
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,107
前受金の増減額(△は減少)	103,545
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,240
未払消費税等の増減額(△は減少)	62,691
未払金の増減額(△は減少)	△9,571
未払費用の増減額(△は減少)	△16,921
その他	17,268
小計	571,435
利息及び配当金の受取額	1,922
利息の支払額	△23,841
法人税等の支払額	△4,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,140

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成24年6月1日  
至平成24年11月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△102,238
無形固定資産の取得による支出	△14,019
敷金及び保証金の差入による支出	△4,709
敷金及び保証金の回収による収入	45,298
長期前払費用の取得による支出	△2,540
事業譲受による支出	△120,700
貸付けによる支出	△500
貸付金の回収による収入	3,508
資産除去債務の履行による支出	△15,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△475,880
社債の償還による支出	△36,000
配当金の支払額	△2,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,363
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188,333
現金及び現金同等物の期首残高	913,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	725,219

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	その他の教育関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,732,614	305,793	5,038,408	—	5,038,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,988	2,988	△2,988	—
計	4,732,614	308,782	5,041,396	△2,988	5,038,408
セグメント利益又は損失 (△)	746,223	△60,613	685,610	△401,006	284,603

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△401,006千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△401,928千円及びその他の調整額921千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他の教育関連事業」セグメントにおいて、平成24年9月1日付で株式会社YCC・JAPANからMANABI外語学院新宿校に関する事業を譲り受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては75,747千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他セグメント情報に関する事項

当社は、平成24年12月10日付で、「その他の教育関連事業」セグメントを管理する運営本部が管轄しておりました「FC事業部」を、「学習塾事業」セグメントを管理する運営本部の管轄とする組織変更を行いました。これに伴い、第3四半期連結会計期間より、「FC事業部」を「学習塾事業」セグメントに含めて開示する予定であります。

なお、当第2四半期連結累計期間においては、「FC事業部」は「その他の教育関連事業」セグメントに含めて開示しております。